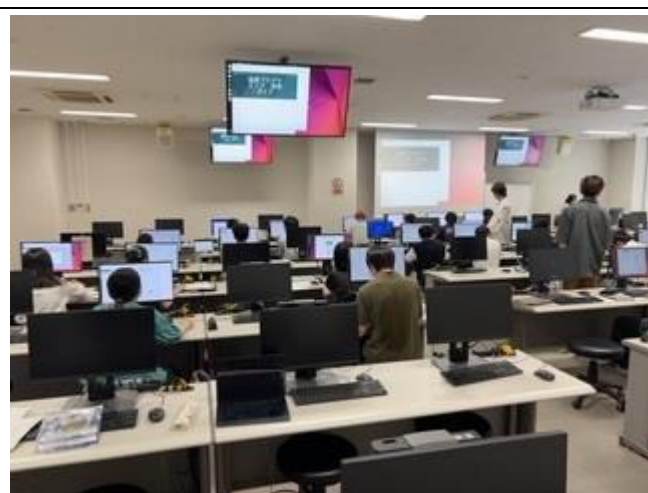


日々の田高（電気通信大学高大連携基礎プログラミング）

7/13（日）、本校生徒3名が、電気通信大学「大学授業科目先取り学修」の一環で行われる「高大連携基礎プログラミング」の第2回スクーリングに参加しました。

スクーリングでは、初めに、配布された資料の閲覧やレポートの提出時に使用する学習システム「Webclass」の操作方法を学び、今後の課題提出の流れについて確認しました。続いて、Ruby 言語の特徴について学習し、三角形の面積を求めるアルゴリズムを Ruby 言語でプログラムに変換する演習に取り組みました。生徒たちは、底辺の長さと高さを入力してプログラムを実行すると、瞬時に計算結果が表示される様子に驚いた表情を見せていました。さらに、Unix コマンドを用いたファイルの開閉や編集方法についても学び、プログラミングやコンピュータの仕組みの奥深さに触れ、生徒たちは興味津々といった様子でした。学校の授業ではまだ本格的にプログラミングを学んでいないこともあり、難しさを感じる場面もありましたが、講師の先生方やティーチングアシスタントの皆さんに丁寧に教えていただき、前向きに楽しく学習に取り組んでいました。

次回のスクーリングは8月25日（月）に実施予定で、発表を行うことになっています。生徒たちは、それまでに e-learning による学習を進め、課題に取り組みながら発表の準備を行います。この夏休みに、高大連携基礎プログラミングの取り組みを通して、プログラミングの力を確実に身につけてほしいと願っています。



講義の様子



演習の様子